



新しい学校 あなたはどんな学校にしたいですか？

牧之原市では、子どもたちにとって望ましい教育環境をつくるため、ソフトとハードの両面から環境づくりに取り組んでいます。ソフト面では、子どもたちがこれからの時代に必要な人間力を育むために、小中学校の9年間を1つとした教育プログラムを検討し、小中一貫教育を進めるとともに、先生以外の人も学校に来て、みんなで子どもを育てる取組を進めています。

一方、ハード面については、この活動を支え、子どもたちが楽しく通うことができる学校とするためには、これからの学校をどんな学校にするかについて、私たち学校再編計画策定委員会が検討しています。10年後、20年後の牧之原市を見据えて、どんな学校にすることが子どもたちにとってよいのか、ぜひみなさんの意見を聞かせてください。

アンケートのやり方

- **学校再編計画素案（概要版）を読んで回答**してください。
- アンケートは、まきはぐシステムによるWEBアンケートです。
- 中学生用、保護者用のアンケートは別になっています。
- アンケートの**締め切りは2月28日（日）**です。



裏面には計画素案の大まかな内容が載っています

・学校再編計画素案（概要版）
はこちらから見ることができます

中学生アンケート

学校生活や施設が「もっとこうだったらいいな」ということなどについて教えてください。

回答時間 5分程度

アンケートへの回答方法

- ① 保護者のメールにまきはぐからメールが届きます
※中学生1人につき1通
- ② メールに記載されているURLからアンケート画面へ

保護者アンケート

計画素案や新しい学校についてご意見を聞かせてください。

回答時間 5分程度

アンケートへの回答方法

- ① 登録メールにまきはぐからメールが届きます
- ② メールに記載されているURLからアンケート画面へ

お子様の回答には、保護者の方のスマホ等の使用についてご協力をお願いします。

お子様がスマホ等をお持ちの場合は、まきはぐからのメールをお子様に転送していただいても回答が可能です。



【問い合わせ先】

学校再編計画策定委員会事務局 牧之原市教育委員会教育総務課（石川）
電話 0548-53-2642 メール kyoiku@city.makinohra.shizuoka.jp

牧之原市学校再編計画素案のポイント



新しい小中一貫校をつくります

目指す 学校像

「みんなの学校」

- ①子どもたちが「学校が楽しい！」と思える子ども主体の学校
- ②みんなで子どもを育てる「共育（きょういく）」の学校



目指す学校づくりのための5つの基本方針

● すべての子どもが主役の学校

すべての子どもにとって、学びやすく活動しやすい教育環境を、子ども主体で考えます。

● 「次代を切り拓く力」を育む学校

一人一人の可能性を伸ばし、次代を切り拓くために必要な人間力を育むことができる環境をつくります。

● 安心・安全な学校

児童・生徒、教職員等が安心して学校生活を送れるよう、市民にとって最も不安な自然災害である津波の浸水想定区域外に、各種災害に強い学校施設をつくります。

● 地域の未来を担う子どもを育てる学校

地域の人に関わり、地域の資源や行事を通じて、子どもたちが地域愛を育むことができ、学校がみんなの場所となるようにします。

● 働きやすく充実した指導ができる学校

教職員が働きやすく、充実した指導ができる組織体制と施設環境を整備します。



5つの基本方針を実現する小中一貫校をつくるには

1 規模

1 学年 3 学級以上を基本

- ・開校時の規模・長期的に単学級にならない
- ・次代を切り拓く力を育むには一定の集団が必要

2 学校区

市立の学校は、相良地域、榛原地域に 1 校ずつの小中一貫校

- ・地頭方地区は、相良地域の小中一貫校に通うことを御前崎市と協議
- ・牧之原小・中学校は、高台開発計画があるため、再編対象とどうか、今後の人口動態を見て教育委員会が判断

4 場所

- 相良地域
相良総合センター「い〜ら」から相良総合グラウンド周辺
- 榛原地域
榛原中学校からぐりんぱる周辺
- ・津波浸水想定区域外で、各種災害に強い
- ・できるだけ多くの児童生徒が、徒歩または自転車で通うことができる
- ・道路やインフラ等の状況を踏まえ、関係部署と連携を図る

3 形態

施設一体型校舎

- ・校種は別に定める
- ・校舎の配置などは、計画策定後、学校ごとにつくる「学校施設整備基本構想」で検討

5 開校目標時期

令和12年度
(2030年)

計画素案などはこちらからご覧いただけます。

- ・学校再編計画素案
- ・学校再編計画素案【概要】

